

はにい『心も満たす、朝食提供事業』

令和7年1月14日

いい香りに誘われて、ランチルームへ。この日は、今季一番の冷え込み。廊下は凍える寒さ。そんな中、ランチルームは早朝から、しっかりと暖かい。中では、数名の生徒がゆったりと朝ご飯を食べている。

「家から学校まで、どれくらいかかるの？」

「歩いて30分ぐらい」

「自分はバスを2本乗り継いで、ここまで来ています」

「朝早く家を出るの、冬は辛くない？」

「おいしい朝ご飯があるし、色々な人と話ができるのが楽しみ」

「温かいご飯が食べられて嬉しい」

2人の生徒が笑顔で答える。



朝食提供は火曜日と木曜日の週2回。地域の法人会で活動する皆さんが運営する。この日は朝食を楽しみに朝早く登校できる、という生徒もいる。校長も毎回、温かく見守る。



「でも自分は、毎日7時には学校に来るようにしています」そう答えてくれたのは2年生。

「朝早く起きる習慣をつけたい」

なぜかという、将来、おいしいパンを売る自分の店をもつという夢があるから。パンづくりの朝は早い。その夢に向かって、卒業後の進路は製パンの専門学校と考えている。小さいころから、近所の店の、パン作り職人の姿にあこがれていた。こうした将来の夢を何気なく話せる、そんな雰囲気がランチルームを包む。

気が置けない友人や信頼する先生、そして、朝食を用意してくれるスタッフの方々と過ごすひとは、お腹だけでなく、心も満たす時間になっている。8時を過ぎると、ランチルームはほぼ満席に。この日の利用は68名。もっと多い日もある。

食事を終わると「いってきます」と教室に向かう。
その後ろ姿を、暗いうちから準備していたスタッフが、
微笑んで見送った。
「いってらっしゃい」。



かながわ元気な学校づくり通信『はにいい』とは、
学校が元気になるように・・・
先生の仕事を受けとる
学校に携わる大人たちがしていることを受けとる
そして、もちろん子どもたちの育ちを受けとる
そんな、コミュニケーションツールです。みんなで語り合いましょう。
専用メールアドレス：inochi4027@pref.kanagawa.lg.jp